

地域包括支援センター業務委託の受託に向けた取り組み

宗 像 広†

第74回国立病院総合医学会
(2020年10月17日 於 新潟)

IRYO Vol. 76 No. 1 (24-27) 2022

要 旨

国立病院機構宮城病院（当院）は、令和2年4月1日、地元自治体である山元町から「地域包括支援センター業務委託」を国立病院機構として初めて受託した。

地域包括支援センターは、医療や介護、生活支援などを一体的・包括的に提供する「地域包括ケアシステム」の充実に図るため、40歳以上の地域住民をサポートするための施設であり、全市町村に設置されている。

約1年前に、山元町長から「これからは、介護と医療の連携が必要」ということで当院に地域包括支援センターの業務委託の打診があったものの、地域包括支援センターの業務の内容が「介護」の分野であり、①国立病院機構として法律上「介護」の業務を引き受けられるのか、②ケアマネージャーなど8名もの安定的な人材の確保が可能なのか、③委託期間である4年間の事業の採算性の見通し、④ノウハウがない中で円滑に事業を開始できるのかの4点について機構本部とともに前向きに検討を重ね受託に至った。

今後、人口の減少、高齢者の増加とそれにとまなう介護予防の需要が見込まれる中で、地域包括支援センターが地域の高齢者の状況を把握し、相談に応じ、問題や課題を捉え、適切なサービス利用に繋げられるよう他職種でアセスメントして関与することが重要となっている。

当院は地域医療にも携わっているが、病院と医療機関との連携だけではなく、介護とも連携することが行政との緊密な連携にも繋がり、そのためには、日頃からのお互いの「信頼関係」の構築が重要である。

当院は、昨年創立80周年を迎え、訪問リハビリも含めた訪問看護ステーションを開設するとともに、これからも「地域が求める医療・介護」に貢献していく。

キーワード 地域包括、業務委託、地域医療

はじめに

国立病院機構宮城病院（当院）は、宮城県の県南に位置し、人口約1万2千人の亘理郡山元町において、病床数が344床（脳神経外科を中心とした急性

期60床、神経難病を中心とした慢性期が120床、重症心身障害児（者）病床が120床、地域包括ケア病床が44床）である。亘理郡における唯一の「病院」として、地域医療、訪問看護等にも力を入れている。本題に入る前に当院と地元自治体である「山元町」

国立病院機構宮城病院 事務部 †事務

著者連絡先：宗像 広 国立病院機構宮城病院 事務部長 〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100

e-mail: munakata.hiroshi.ap@mail.hosp.go.jp

(2021年1月26日受付, 2021年6月16日受理)

Closer Cooperation with Medical Care, Long-term Care and Local Government by Entrusting "Community General Support Center Operation Consignment" from the Local Government

Hiroshi Munakata, NHO Miyagi Hospital

(Received Jan. 26, 2021, Accepted Jun. 16, 2021)

Key Words : community comprehensive support, first commissioned, community medicine